

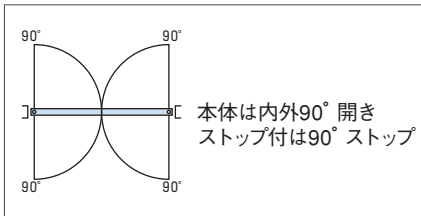
フロアヒンジ | 中心吊り自由開き <内外90°開き>

一般ドア用

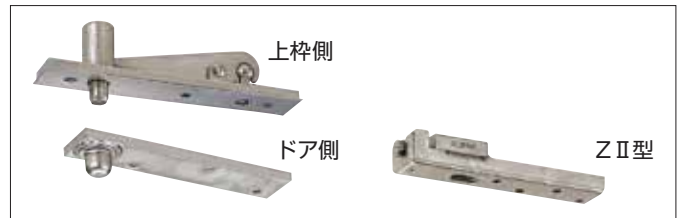
30・40

■特長

- 主として玄関ドアに使用。
- 本体が大きいため各部の構造に無理がありません。
- 内外別々に閉扉速度は調整可能。
- ドアを吊込んだままで内外別々に開閉力は調整可能。
- 召合せ調整はドア吊込み後でも可能。
- ZII型トップピボットはドア上部移動調整型。
ドアと縦枠の隙間(チリ)はトップピボットドア側で調整可能。
(ドア幅方向調整)



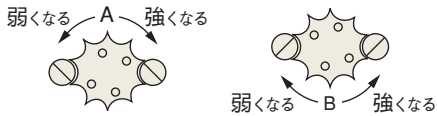
トップピボット



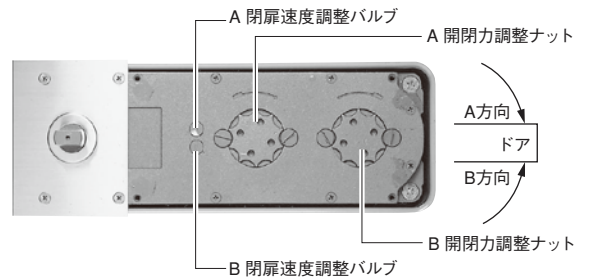
■開閉力調整

A・B方向別々に調整

開閉力調整ナットを矢印方向に回して下さい。
(出荷時の設定からそれぞれ1コマ調整出来ます。)



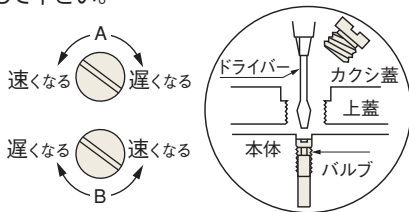
※開閉力調整は必ずレンチを使用して下さい。
開閉力調整用レンチは弊社に用意しております。



■閉扉速度調整

A・B方向別々に調整

カクシ蓋を取り、中にあるバルブを回して調整して下さい。



■ドア閉鎖位置の調整 (召合せ調整)

召合せ調整ネジを回して下さい。



■ドアと縦枠の隙間(チリ)調整 (ドア幅方向調整)

Z型トップピボットを使用した場合は、トップピボットドア側で調整出来ます。(P.23参照)

品番		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 kg 以下	備考
ストップなし	ストップ付			
30	S-30	950×2100	110	開閉力調整型
40	S-40	1050×2400	185	
30 ZII	S-30 ZII	950×2100	110	ドア上部移動調整型 開閉力調整型
40 ZII	S-40 ZII	1050×2400	185	

注) 1. トップピボット逆取付もあります。(オプション) P.40をご参照下さい。
ご注文の際は、品番の後にトップ逆付を付けて下さい。 発注例：S-40 トップ逆付
2. アクアヒンジはP.39をご参照下さい。石張りフロアヒンジ (I) はP.37をご参照下さい。
3. ZII型トップピボット・GM型トップピボットはP.40をご参照下さい。

納まり図は55ページ

フロアヒンジ

フロアヒンジは、長年ご使用頂けるよう、耐久性に優れています。
周囲の状況やドアの種類、大きさ等に応じた最適なものをお選び下さい。
ドアや壁及びフロアヒンジの破損防止の為、
ドアを最大に開いた位置に戸当り（別途）を設置して下さい。

■吊込み方法・開き角度

		一般ドア用	防火ドア用	強化硝子ドア用
中心吊り	内外自由開き	90° 開き	30・40	E-130・140
		120° 開き	H-501・511・522 H-1300・1400 A-1300・1400 A-1500・1600	E-511・522 E-1300・1400 G-1300・1400 G-1500
	一方開き	120° 開き	H-505・515・525 H-835・845 H-855	E-835・845
		180° 開き	F-835・845 F-855・865	
持出吊り	一方開き	180° 開き	O-835・845 O-855	O-835G・845G
		180° 開き 偏芯	2250・2350 2450・2550	

■力とドアの大きさとの関係

ドアの大きさ・重量を基準に最適なものを選んで下さい。詳細は各品番をご参照下さい。
風の強い場所に使用される場合は、1ランク上の品番をご検討下さい。

ドア幅 (DW) 寸法が小さい場合、ドアを開くのが重くなります。
又、フランス落しを使用する場合は、フロアヒンジと重ならないように注意して下さい。

■左右勝手

一方開きドアには左右勝手があります。

- 右開き (右勝手) ー ドアを押して右に開く場合
- 左開き (左勝手) ー ドアを押して左に開く場合

